

第 35 期

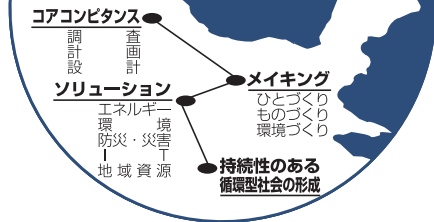
# 中間報告書

平成18年10月21日 >>> 平成19年4月20日



KITAC

## 大地と対話 地域と歩む



総合建設コンサルタント

### 株式会社 キタック

東京・仙台・北信越・佐渡・山形・福島

〒950-0965 新潟市中央区新光町10番地2  
TEL (025) 281-1111 (大代表) FAX (025) 281-0001  
<http://www.kitac.co.jp/>

R100  
森林産品100%再生紙  
を使用しています。

PRINTED WITH  
SOYINK!  
環境に配慮した、「大豆インキ」  
を使用しています。

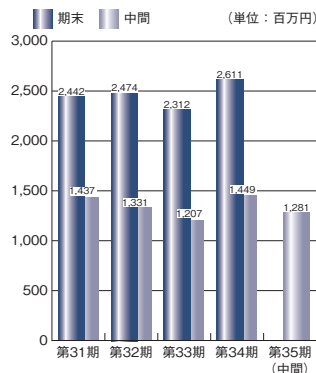
KITAC

株式会社 キタック

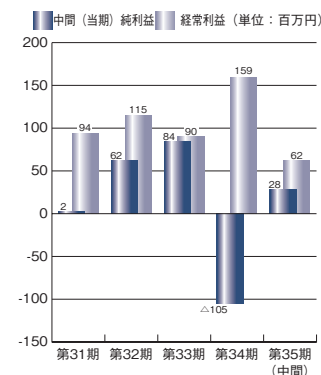
JASDAQ  
証券コード 4707

## ●財務ハイライト

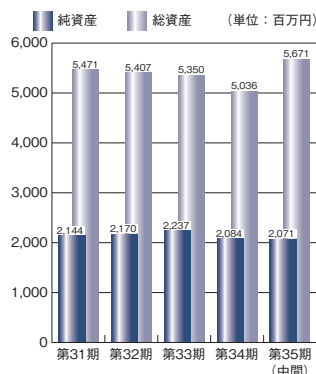
### 売上高



### 中間(当期)純利益／経常利益



### 純資産／総資産



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに第35期中間期（平成18年10月21日～平成19年4月20日）の営業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

### ■当中間会計期間の概況と業績について

当中間会計期間におけるわが国経済は、海外経済の拡大を背景とした輸出の増加ならびに好調な企業収益を背景とした民間設備投資の増加などにより、緩やかな景気回復基調が続きました。

一方では、原油価格が依然として高値で推移するなどの不安定要素もあり、さらには雇用者所得の伸び悩みから個人消費の足取りは力強さに欠け、景気の回復が実感できないまま推移いたしました。

その中で、当社の属する建設コンサルタント業界の市場環境におきましては、地震や水害など自然災害に対する社会基盤整備への関心が高まっておりますものの、国・地方自治体の慢性的な財政難を背景とした公共投資抑制政策により、業務量の減少と受注単価の引き下げは依然続いており、前事業年度に引き続き当中間会計期間も厳しい状況が継続しました。

このような状況のもと、当社は、より幅広い顧客層に対し積極的に営業展開して受注の確保に取り組みましたが、受注環境が縮小傾向にある従来型の公共投資予算であったため、当中間会計期間における受注高は10億7千9百万円（前年同期比5.4%減）と減少となりました。

また、前事業年度のような新潟県中越地震を含む災害関連の繰越業務がなかったことにより、売上高においても12億8千1百万円（同11.6%減）と減収となりました。

利益面につきましても、プロジェクト毎のきめ細かく徹底した原価管理を実施しましたが、売上高の減少と不動産賃貸等部門の設備投資による諸経費増加により、営業利益は8千7百万円（同48.5%減）、経常利益は6千2百万円（同57.3%減）となりました。

なお、当中間会計期間においては前事業年度のような固定資産の減損損失がないため、中間純利益は2千8百万円となりました。

### ■通期の見通しと今後の取り組みについて

通期の見通しといたしましては、国及び地方自治体の公共事業見直しなどにより引き続き公共投資は縮小傾向にあり、特に地方自治体においては一段と削減され、市場は厳しい競争状態が続くものと思われます。

このような状況のもと、通期の業績予想につきましては、平成18年12月8日に公表いたしました「平成18年10月期個別財務諸表の概要」の業績予想に変更はありません。売上高24億4千4百万円（対前期増減率6.4%減）、営業利益1億6千8百万円（同19.9%減）、経常利益1億4百万円（同34.8%減）、当期純利益4千2百万円を見込んでおります。

今後も、当社といたしましては全国有数のレベルで過去から蓄積された優れた技術、ノウハウをベースにした他社と異なる知的財産を用いて、従来業務を確保するよう努力し、同時に、新しい分野として「都市再生のマスタープラン」、「エネルギービジョン」、「土木・建築の構造物耐震診断及びメンテナンス」や「環境関連業務」ならびに自治体の合併に伴うニュービジネスの開拓などに積極的に資源を投入し、時代のニーズに合わせた組織を構築いたします。

また、他社と差別化した手法を用いた技術提案を積極的に取り入れ、受注目標を達成するように努めるとともに、引き続きコスト管理を徹底し、利益目標の達成に努める所存です。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年7月  
代表取締役社長 中山輝也



# KITACO

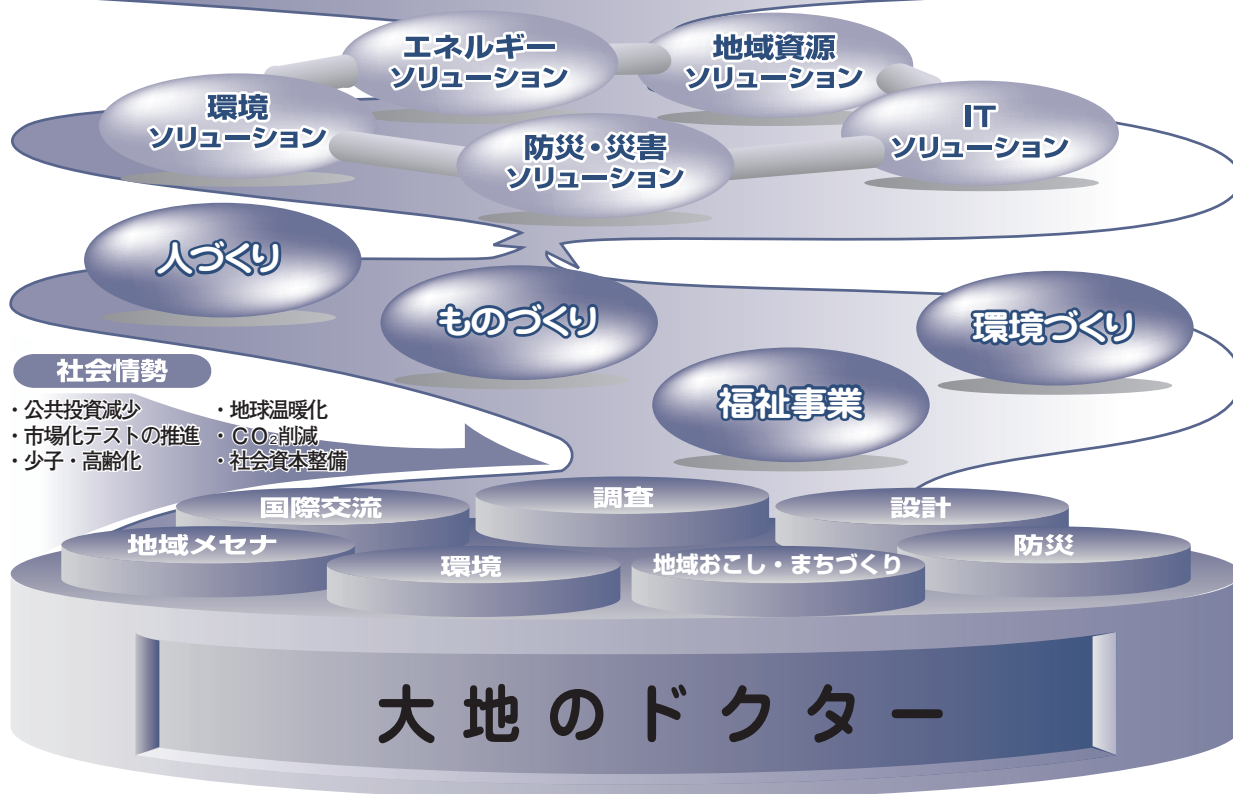
## CONTENTS

- 株主の皆様へ……1
- 主要事業の内容……2
- 中間貸借対照表……4
- 中間損益計算書……5
- 中間株主資本等変動計算書……6
- 中間キャッシュ・フロー計算書……7
- 事業の概要・株主メモ……8
- 会社概要……9

# 主要事業の内容

## 当社の業務遂行の基本理念

地域の地形・地質・文化・風土を良く理解し、優れた技術と最新の知的サービスを顧客に提供することで、国民の安全と安心に貢献します。



美しい緑と水辺と大地を求めて

## 業務内容

### ■ 地質調査・試験・解析・評価

- 土質、地質
- 地下空洞及び海底
- 地下水、地熱、地下資源

### ■ 環境調査・分析・解析・評価

- 環境アセスメント・環境基本計画
- 土壌、地下水汚染
- 埋蔵文化財調査

### ■ 土木設計

- 道路、橋梁、トンネル設計・土木構造物、地盤設計・河川、砂防、海岸設計・下水道、ダム設計・防災設計補修設計

### ■ 地域計画

- 都市、公園
- 地域開発、地域活性化計画
- GIS及び三次元衛星画像企画、販売

### ■ 施工管理・構造物維持管理

- トンネル設計・土木構造物、地盤設計・海岸設計・下水道、ダム設計・防災設計補修設計

### ■ 地域おこし、まちづくり

- 計画・設計・マスタープラン策定
- 地域活性化計画
- 次元衛星画像企画、販売

### ■ 建設及び環境関連機械の販売

- CG制作・広告宣伝等の企画、印刷、出版
- 教育文化福祉健康事業

## 中間貸借対照表 (平成19年4月20日現在)

### ●中間貸借対照表

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
流動資産	1,135,976	流動負債	1,651,568
現金及び預金	467,633	業務未払金	96,581
受取手形	398	短期借入金	1,041,200
完成業務未収入金	302,481	一年以内償還予定の社債	28,000
たな卸資産	305,368	未払法人税等	10,540
繰延税金資産	34,330	未成業務受入金	252,121
その他	26,516	賞与引当金	43,094
貸倒引当金	△ 753	業務損失引当金	19,818
固定資産	4,535,453	その他	160,212
有形固定資産	4,267,220	固定負債	1,948,716
建物	376,777	社債	858,000
工具器具備品	408,316	長期借入金	851,368
賃貸資産	700,098	退職給付引当金	53,039
土地	2,486,589	役員退職慰労引当金	171,667
その他	295,438	その他	14,642
無形固定資産	18,150	負債合計	3,600,285
投資その他の資産	250,082	<b>(純資産の部)</b>	
投資有価証券	126,300	株主資本	2,059,383
繰延税金資産	80,676	資本金	479,885
その他	43,146	資本剰余金	306,201
貸倒引当金	△ 40	資本準備金	306,201
資産合計	5,671,429	利益剰余金	1,383,687
		利益準備金	48,207
		買換資産圧縮積立金	21,624
		別途積立金	1,110,000
		繰越利益剰余金	203,855
		自己株式	△ 110,390
		評価・換算差額等	11,760
		その他有価証券評価差額金	11,760
		純資産合計	2,071,144
		負債純資産合計	5,671,429

(注) 1.有形固定資産の減価償却累計額…1,369,928千円  
 2.担保に供している資産 流動資産及び有形固定資産…3,366,242千円  
 3.自己株式の数…368,032株

## 中間損益計算書 (自平成18年10月21日 至平成19年4月20日)

### ●中間損益計算書

(単位:千円)

科 目	金 額	
売上高		1,281,957
売上原価		909,717
売上総利益		372,239
販売費及び一般管理費		285,179
営業利益		87,060
営業外収益		13,920
営業外費用		38,930
経常利益		62,050
特別利益		—
特別損失		6,042
税引前中間純利益		56,007
法人税、住民税及び事業税	8,090	
法人税等調整額	19,032	27,123
中間純利益		28,884

(注) 1株当たりの中間純利益 (期中平均発行済株式総数により算出) …5円16銭

## 中間株主資本等変動計算書 (自平成18年10月21日 至平成19年4月20日)

### ●中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間

(単位:千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
平成18年10月20日残高 (千円)	479,885	306,201	306,201
中間会計期間中の変動額			
別途積立金の取崩 (注)	—	—	—
剰余金の配当 (注)	—	—	—
中間純利益	—	—	—
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額 (純額)	—	—	—
中間会計期間中の変動額合計 (千円)	—	—	—
平成19年4月20日残高 (千円)	479,885	306,201	306,201

	株主資本				
	利益剰余金				
	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計
買換資産圧縮積立金		別途積立金	繰越利益剰余金		
平成18年10月20日残高 (千円)	48,207	21,624	1,310,000	16,978	1,396,810
中間会計期間中の変動額					
別途積立金の取崩 (注)	—	—	△200,000	200,000	—
剰余金の配当 (注)	—	—	—	△42,007	△42,007
中間純利益	—	—	—	28,884	28,884
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額 (純額)	—	—	—	—	—
中間会計期間中の変動額合計 (千円)	—	—	△200,000	186,877	△13,122
平成19年4月20日残高 (千円)	48,207	21,624	1,110,000	203,855	1,383,687

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成18年10月20日残高 (千円)	△110,390	2,072,506	11,870	11,870	2,084,376
中間会計期間中の変動額					
別途積立金の取崩 (注)	—	—	—	—	—
剰余金の配当 (注)	—	△42,007	—	—	△42,007
中間純利益	—	28,884	—	—	28,884
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額 (純額)	—	—	△109	△109	△109
中間会計期間中の変動額合計 (千円)	—	△13,122	△109	△109	△13,232
平成19年4月20日残高 (千円)	△110,390	2,059,383	11,760	11,760	2,071,144

(注) 平成19年1月の定時株主総会における利益処分項目であります。

## 中間キャッシュ・フロー計算書 (自平成18年10月21日 至平成19年4月20日)

### ●中間キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:千円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー(うち、減価償却費)	348,715 ( 33,996)
投資活動によるキャッシュ・フロー(うち、設備投資額)	△726,199 (△720,628)
財務活動によるキャッシュ・フロー(うち、配当金)	421,918 ( △42,007)
現金及び現金同等物の増加額	44,434
現金及び現金同等物の期首残高	423,198
現金及び現金同等物の中間期末残高	467,633

#### ■キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動ならびに財務活動による資金の増加はありましたが、投資活動による資金の減少により、当中間会計期間末には4億6千7百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3億4千8百万円となりました。これは、主に税引前中間純利益5千6百万円、減価償却費3千3百万円、未成業務受入金の増加額2億1千8百万円、たな卸資産の減少額7千1百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、7億2千6百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出7億2千万円等があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、4億2千1百万円となりました。これは、主に短期借入金純増加額5億6千万円、長期借入金の返済による支出1億6千5百万円、長期借入れによる収入8千3百万円等によるものであります。

## 河川の生い立ちを踏まえた堤防強化の提言



近年、集中豪雨に伴う洪水が多発し、河川堤防の強化が急務となっております。私たちは地質的な考察によって、河川の生い立ちを踏まえ、地質環境に配慮した提言を行っています。

## 事業の概要 (平成19年4月20日現在)

### ●受注状況・販売実績

(単位:千円)

区 分	前中間連結会計期間 (自 平成17年10月21日 至 平成18年4月20日)		当中間会計期間 (自 平成18年10月21日 至 平成19年4月20日)	
	受注状況	販売実績	受注状況	販売実績
建設コンサルタント事業	1,166,567	1,436,983	1,079,301	1,214,814
その他事業	—	48,692	—	67,143
合 計	1,166,567	1,485,675	1,079,301	1,281,957

### ●営業成績および財産状況の推移

区 分	前中間連結会計期間 (自 平成17年10月21日 至 平成18年4月20日)		当中間会計期間 (自 平成18年10月21日 至 平成19年4月20日)	
	売上高(千円)	1,485,675	1,281,957	
経常利益(千円)	149,634	62,050		
中間純利益(千円)	△58,133	28,884		
1株当たり中間純利益	△10円37銭	5円16銭		
総資産額(千円)	5,336,501	5,671,429		

### 株主メモ

事業年度	10月21日から翌年10月20日まで
定時株主総会	毎年1月
株主総会の基準日	毎年10月20日 その他必要があるときは予め公告いたします。
配当金受領 株主確定日	10月20日 なお、中間配当を実施するときの 株主確定日は4月20日。
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告 ※ ※(公告掲載 URL <a href="http://www.kitac.co.jp/">http://www.kitac.co.jp/</a> ) 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行う ことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 証券代行事務センター (〒168-0063) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

●フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付:自動音声案内)

●ホームページ [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

## 会社概要 (平成19年4月20日現在)

名 称	株式会社キタック KITAC CORPORATION		
設 立	昭和48年2月1日		
資 本 金	4億7,988万5,200円		
従業員数	137名		
役 員	代表取締役社長 中山 輝 也 専務取締役 大谷 政 敬 専務取締役 小野塚 眞 一 常務取締役 鈴木 嘉 行 取締役 木野井 彰 取締役 坪川 行 雄 取締役 平野 吉 彦 監査役 長原 哲 夫 監査役 安尻 利 行		

### 事業所所在地

本 社	〒950-0965 新潟県新潟市中央区新光町10番地2 TEL(025)281-1111(大代表) FAX(025)281-0001
東京支店	〒111-0051 東京都台東区蔵前2-4-5 岩金ビル2F TEL(03)5687-1271(代) FAX(03)5687-5379
仙台支店	〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1-1-37 キタックビル2F TEL(022)265-1050(代) FAX(022)265-1051
北信越事業所	〒942-0085 新潟県上越市五智国分3121-4 TEL(025)543-9777(代) FAX(025)543-9922
佐渡事業所	〒952-1209 新潟県佐渡市千種丙207-1 TEL(0259)61-1666(代) FAX(0259)61-1655
山形事務所	〒990-0021 山形県米沢市大字花沢2930 TEL(0238)24-4140(代) FAX(0238)24-5652
福島事務所	〒963-8014 福島県郡山市虎丸町6-18 橋本ビル2F TEL(024)923-5981(代) FAX(024)923-6320

## 地域メセナーゆとりと潤いを地域に還元ー



知足美術館